

小山田小

2024年5月30日

3号

町田市立小山田小学校

校長 小澤 新也

042(797)1824

<http://www.machida-ky.jp/e-oyamada/>

いよいよ運動会、みなさまのご来校をお待ちしております

校長 小澤 新也

5月20日は、小山田小学校の73回目の開校記念日でした。ちょうど月曜日だったので、全校朝会で子どもたちに話をしました。それまで忠生小学校の分校だった小山田小学校は、1952(昭和27)年に生まれました。当時の名前は、忠生村立忠生第二小学校です。まだ町田市はなく、このあたりは忠生村でした。忠生村の2番目にできた小学校ということで忠生第二小学校という名前になりました。記録を見ると、児童数は開校当時300人でした。でも今と違って全ての学年が1学級ずつでした。最も少ない1年生が39名ですが、6年生は57人が1つの教室で勉強していました。

開校記念日を5月20日と定めた理由は、独立した1つの小学校として認可されたのが5月20日だったということによります。なので、この開校の年は、4月1日は校長が本校である忠生小学校長であり、認可された後の5月23日に初代校長 浦上増太郎先生が着任されたとの記録が残っています。

校長室の金庫の中には、学校の歴史やこれまでの卒業生の名簿が大切に保管されていますが、他にも興味深い資料を見つけました。1952(昭和27)年の開校の年の10月9日に行われた第1回運動会の記録です。今と違って、運動会は学校だけのものではなく、保護者や地域の方々も企画運営に携わっていたことがわかります。

プログラムを見ると、児童演技として音楽遊戯という種目を見つけました。全校児童で行うものだけでなく、学年合同で女子だけ、男子だけ(タンブリング)が参加するものもあったようです。徒競走、リレー、玉入れ、綱引きなど今に続く競技もありますが、鈴割、騎馬戦、棒倒し、棒引き、むかで競争、二人三脚、だるま落としなど、私が子どものころにやった記憶がある種目も並んでいます。



他にも親子リレー、借り物競争、ボール引き、ボールけり、だるまおくりなどの親子競技、PTAと職員の種目。そして青年という括りで、200米走、400米走、800米リレー、1500米走、混合リレーにリンゴ取り(パン食い競争のようなものでしょうか?)と、地域のみなさんが出場する種目もたくさん用意され、ラジオ体操や整理体操を含めて、なんと46もの種目が行われていました。運動会当日は、開催を知らせる花火が上がり、人々が総出で運動会を楽しんだ様子が、プログラムをはじめとする様々な資料から伝わってきました。

あれから72年。昭和、平成、令和と移り変わり、学校や地域を取り巻く状況は大きく様変わりしました。しかし、72年前の小学生と同じように、今の小学生も自分の力いっぱい表現できる、年に一度の運動会を、きっと楽しみにしているに違いありません。

今年度も、小山田小学校は運動会の意義を再確認し、種目数を減らすことなく、お昼休憩をはさんだ運動会を続けることにしました。熱中症対策として児童席にはテントを設営し、途中休憩をはさんだプログラムにしています。また、お弁当給食を実施し、参観される保護者席も優先ゾーンを設けるなど、新しい時代の運動会の在り方を提起しています。ぜひ、子どもたちのがんばりに大きなご声援をお願いします。